

YAMANASHI

ろけん

2011.7

Vol.29

山梨県老人保健施設協会広報誌



介護老人保健施設の 理念と役割

(観 全国老人保健施設協会)

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。
また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

会長あいさつ

山梨県老人保健施設協議会 会長 大久保 幹雄

会員の皆様には、日ごろ、高齢者保健福祉の向上のためご尽力いただいておりますことに厚く感謝申し上げます。さて、私こと永年ご尽力をいただきました保坂久会長の後を受けて、山梨県老人保健施設協議会会長の重責を引き受けることとなりました。もとより微力ではございますが、皆様のご支援を賜り、最善を尽くす所存でございますので、前会長同様よろしくお願い申し上げます。

3月11日に突如発生した東日本大震災は、多くの人的・物質的被害をもたらしました。中でも私共と同じ老健の仲間も痛ましい犠牲に会いました。心から哀悼の意を表しますとともに早期の復興をお祈り申し上げます。

団塊世代の高齢化時代を迎え、わが国の少子高齢化は今後もすすむ状況にあります。医学の進歩や生活水準の向上により、平均寿命が延び、高齢者の増加と平行して介護を要する高齢者は急増し、しかも介護期間も長期化しています。

近年の福祉政策は「施設よりも在宅」の方向で進んできましたが、現実はその裏腹に核家族化が進行している中で、経済成長が終わり、高齢者世帯も子供世帯にも余裕がなくなり、高齢者の介護が家庭では難しくなっています。家族の「介護疲れ」は虐待や殺人など高齢者の悲惨な事件を生んでいます。

私共老人保健施設は今後の「地方包括ケア」体制整備において高齢者が安心して自立した生活が続けられるよう支援する中心的な施設としてお互いに力を合せてがんばって参りましょう。

東日本大震災 医療支援活動

介護老人保健施設しおかわ福寿の里

未曾有の被害をもたらした大震災も発生からはや4ヶ月。震災直後、都倉医師（しおかわ福寿の里施設長兼塩川病院院長）の「将来、山梨県も地震が起きた場合に被災地となる。病院はどのように維持されるのか、その実態を視てみたい！被災地で手伝いたい！」との強い意志に職員も賛同、県からの要請もあり、宮城県石巻市で支援をしました。その活動と感想を聞きました。

医師・薬剤師・事務員、看護師2名を班員とし、薬剤をはじめ、現地での生活品は全て自分達で賄うよう準備し出発した。当救護班は3月26日正午に現地入りし、支援内容を掌握。午後には被災地を視察したが、実際の光景は正に言葉を失う惨状であった。

医療活動の現場はマネジメント管理者を中心に組織的に活動していて、朝・夕に医療支援者及び病院従事者を集め、ミーティングにより「活動の指示・確認」「情報の収集・伝達」「意見・問題の集約」を行い、各支援者のスケジュールを割り振っていく形であった。当救護班は石巻赤十字病院の外来支援を27日と29日に担当した。体調を崩し外来を訪れる患者は途切れず、10分の休憩を取ったのみで、ずっと診療にあたった。救急車については1日80台を収容する日もあったらしい。薬剤については震災直後に一時医薬品の不足が起こったが、後発品等を集めることにより、大きな医薬品不足にはなっていなかったようである。

同行した事務員は、「マネジメントがとても大切で、なおかつ現場と関係を密にして信頼を確立していないと難しい。マネジメント側は現場側の要望を検討・実施し、現場側はマネジメントされた計画に応じて



おり、相互関係が確立していたように思う」と話していた。

28日は避難所の石巻北ブロック中里小学校で巡回診療を行った。

同行した看護師の話では、当初約1400名いた被災者も2週間を経過し270名ほどに減っていたが、生活環境が悪化しており、燃料不足・長期断水による不衛生化・感染症の蔓延・疲れやストレス等生じていたという。

高齢者の多くは日中も教室にいて発熱・咳・下痢の患者さんが多かった。

点滴の際のスタンドもなく、ハンガー等あるもので代用して行ったが、使用した点滴・針を捨てるボックスを持っていかなかったので処理に困ったようである。同じく薬剤師の話では、使用薬剤は災害時期により少しずつ変化し、災害初期は常用薬剤の処方がメインだが、巡回を行った2週間後は感染症蔓延のため風邪薬や抗生剤がメインであった、とのこと。2週間以降はエコノミー症候群の予防薬や心のケアに伴う薬になると推測。各支援チームが入れ替わり巡回診療に入るため、風邪薬などが重複して処方されている場合があり、服用薬剤の履歴と鑑別が重要だと感じた、と言っていた。

支援を終えて

後日、病院・老健の合同学習会にて、班員が支援に行かせていただいたお礼と感謝をはじめ、一人ひとり感想を交えながら活動報告を行った。被災状況を目の当たりにし家族の顔が浮かんだ班員。実際に視て経験できていい勉強になった！という班員。短期医療支援で申し訳なく感じていたが、現地の医療スタッフに「スポット的でも助かりました。他の医療支援者の労務が軽減されました。」と言われ、そこで「支援した」という感情が変わった、という班員もいた。

我が施設・病院に置き換えて、大切なのはその時のための準備と対策、一人ひとり何ができるか考えて行動することである、と再確認した学習会であった。



老健の

リハビリ



在宅復帰や在宅生活の支援を目的とした老健施設のリハビリテーションは、入所から退所まで利用者の生活の維持向上のために、一人ひとりに合わせた適切なリハビリを行えるよう、医療・看護・介護とともにサービスを検討し、実施します。

リハビリスタッフによる個別リハビリテーションや、看護師や介護職員による生活の中でのリハビリを実施しています。退所後の生活で機能の維持・向上が行えるよう、退所前訪問指導（退所前にご自宅に伺い、動作の確認や生活でのアドバイスをさせていただく）も積極に行っています。

また、在宅生活が困難な場合でも、外泊や外出を通してご家族や地域とのつながりを持った生活が送れるよう、より積極的な支援を行っている。

老健の

食事サービス

老健施設の食事は、ご利用者の健康状態や介護度に合わせたものが提供できるように、管理栄養士を中心として医療・看護・介護・リハビリスタッフ等により情報交換や検討が行われ、作られています。

施設によって様々な食事サービスが実施されており、ご利用者の状態はもちろん、季節や行事、またはご利用者の希望などを取り入れた食事サービスを提供しています。

たとえばかむ力や飲み込む力に配慮した嚥下食や歯茎・舌でつぶせる歯茎食・舌食など食べやすさに十分な工夫を凝らしています。また四季折々の季節感を楽しんでいただく工夫もあります。写真は一年の初めにふさわしい元旦のおせち料理です。

療養生活の中では食事は大きな楽しみの一つです。栄養と食べる楽しみ、この二つとも満足していただけるように様々な工夫を行っています。



レクリエーション



老健のレクリエーションは、日常生活を通じてのリハビリの一貫として実施しています。単調になりがちな施設生活の中で、毎月の行事で季節を感じながら楽しんでいただき、精神的・肉体的にリフレッシュしていただくことを主眼としています。利用者・ご家族だけでなく、地域の皆様やボランティアの方々も参加していただくこともあります。以下にレクリエーションスケジュールの見本をご紹介します。写真は利用者の発案で、このたびの大震災被災地へのお見舞いと復興を祈念して千羽鶴を、入所者・ご家族・職員で折りました。千羽を超え2千羽になりました。

曜日	週間メニュー	月	年次メニュー	月	年次メニュー
月	集団リハビリ体操	1	初詣	7	七夕
火	風船バレー	2	節分	8	納涼会
水	リハビリ体操	3	ひな祭り	9	敬老会
木	お口の体操	4	お花見	10	運動会
金	話し方トレーニング	5	端午の節句	11	紅葉狩り
土	いろはカルタ	6	外食会	12	クリスマス会
日	嚥下体操				



入浴

全介助の方の機械浴、一部介助・自立の方の一般浴、各々週2回のサービスがあります。

また、在宅に近い形で入浴していただけるように個浴（家庭用のバスタブ）も用意しています。当日体調により入浴できない方は、清拭に替える場合もあります。入浴もリハビリの一環なので、自分でできることは自分でしていただくことが基本です。職員はできるだけ支援に徹するようにしています。

そのほかに入浴は、体の清潔保持と炎症等の処置、普段衣類に隠れている部分の異常の有無の確認、及びリフレッシュも大きな目的です。写真は、介助が必要な方の入浴設備です。



サービス利用料のご案内

介護老人保健施設で提供するサービスの利用料金は介護給付費用の1割と食事代、居住費、日用品費などの利用料との合計額となります。介護給付費用は認定された介護度、利用する施設の体制、付加するサービスの種類に応じて利用者個々に異なります。利用される前に各施設から十分に説明をお受けください。

介護老人保健施設を利用される場合の利用料は、以下に示すとおりです。



■ 長期入所 1日当たり自己負担額

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
813円	862円	915円	969円	1,022円

上記のほか付加するサービスにより、以下の料金等が加算されます。

- ・初期加算(入所から30日間) 30円
- ・栄養マネジメント加算 14円
- ・短期集中リハ加算(入所から3ヶ月間) 240円
- ・療養食栄養加算 23円

■ 短期入所療養介護(ショートステイ) 1日当たり自己負担額

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
631円	785円	845円	894円	947円	1,001円	1,054円

上記のほか付加するサービスにより、以下の料金等が加算されます。

- ・送迎加算(片道) 184円
- ・リハビリ機能強化加算 30円
- ・個別リハビリ加算 240円
- ・療養食栄養加算 23円

■ 通所リハビリ(デイケア) 1回当たり自己負担額(要支援は一月当たり)

利用時間	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3時間以上 4時間未満	月額 2,496円	月額 4,880円	386円	463円	540円	617円	694円
4時間以上 6時間未満			515円	625円	735円	845円	955円
6時間以上 8時間未満			688円	842円	995円	1,149円	1,303円

上記のほか付加するサービスにより、以下の料金等が加算されます。

- ・入浴介助加算 1日50円
- ・リハビリマネジメント加算 1月230円
- ・個別リハビリ加算 1回80円～280円

●このほかに、介護給付外費用として

- ・食事代・居住費(減額制度あり)
- ・日用品費、教養娯楽費、洗濯代、おやつ代等が加算されます。



Q

介護保険の申し込みは どうしたらいいの？

A
1

介護保険のサービスを利用するには認定（要介護認定）が必要になります。

A
2

利用する方がお住まいの各市町村、介護保険課の窓口に行き相談しましょう。

A
3

介護保険には**在宅サービス**と**施設サービス**があり利用者の希望で選べます。

介護認定が
要支援の場合

（要支援1・2）

家事など日常生活に
支援が必要な状態



介護認定が
要介護の場合

（要介護1～5）

寝たきり、認知症など
で常に介護を必要とする状態



在宅サービス

○家庭を訪問するサービス

- ・ホームヘルパーの訪問（訪問介護）
- ・看護師などの訪問（訪問看護）
- ・リハビリの専門職の訪問（訪問リハビリテーション）
- ・入浴チームの訪問（訪問入浴介護）
- ・医師、歯科医師、薬剤師、栄養士、歯科衛生士による指導



○日帰りで通うサービス

- ・日帰り介護施設（デイサービスセンター）などへの通所
通所介護【機能訓練、食事や入浴など】
- ・老人保健施設などへの通所
通所リハビリテーション（デイケア）

○施設への短期入所サービス

- ・特別養護老人ホームや介護老人保健施設などへの短期入所
短期入所生活および療養介護（ショートステイ）
- ・福祉用具の貸与・購入や住宅の改修
- ・福祉用具の貸与
- ・福祉用具の購入費の支給
- ・住宅改修（手すりの取り付けや段差解消等）の支給

○その他

- ・認知症老人のグループホーム＜認知症対応型共同生活介護＞
- ・有料老人ホームなどでの介護＜特定施設入所生活介護＞

○介護サービス計画書の作成

施設サービス

○特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

○老人保健施設（介護老人保健施設）

○介護職員が手厚く配慮された病院など（介護療養医療施設）

- ・療養型病床群
- ・老人性認知症疾患療養病棟



山梨県介護老人保健施設一覧

☎ : 電話 📠 : FAX ✉ : E-mail

1 峡北シルバーケアホーム 〒408-0023 北杜市長坂町渋沢907 ☎0551-32-6211 📠0551-32-6215 ✉kyohoku@crux.ocn.ne.jp	11 ケアセンターいちかわ 〒409-3601 西八代郡市川三郷町市川大門416 ☎055-272-5121 📠055-272-5131 ✉kaigo-m@town.ichikawamisato.lg.jp	21 ふじ苑 〒406-0004 笛吹市春日居町小松855-6 ☎0553-26-5001 📠0553-26-3574 ✉fujien@hyper.ocn.ne.jp
2 しおかわ福寿の里 〒408-0114 北杜市須玉町藤田787 ☎0551-42-4604 📠0551-42-4101 ✉salt2910@poppy.ocn.ne.jp	12 ナーシングプラザ三珠 〒409-3612 西八代郡市川三郷町上野2968 ☎055-272-8611 📠055-272-8653 ✉momo6154@herb.ocn.ne.jp	22 いちのみやケアセンター 〒405-0076 笛吹市一宮町竹原田1255-1 ☎0553-47-4811 📠0553-47-4815 ✉icare777@oregano.ocn.ne.jp
3 フルリールむかわ 〒408-0307 北杜市武川町柳澤740の1 ☎0551-26-0111 📠0551-26-0112 ✉fluriru-MUKAWA@zero.ad.jp	13 サンビューかじかざわ 〒400-0601 南巨摩郡富士川町鯉沢340-1 ☎0556-22-7301 📠0556-22-1665 ✉syomu3@kajikazawa.com	23 勝沼ナーシングセンター 〒409-1302 甲州市勝沼町菱山中平4300 ☎0553-44-5311 📠0553-44-5221 ✉knc@katsunuma.ne.jp
4 あさひホーム 〒407-0045 韮崎市旭町上条中割473 ☎0551-23-3500 📠0551-23-3505 ✉asahikai@poem.ocn.ne.jp	14 峡南ケアホームいいとみ 〒409-3423 南巨摩郡身延町飯富1655 ☎0556-42-4314 📠0556-42-4331 ✉iitomi.ro-ken@gaea.ocn.ne.jp	24 恵信ケアセンター 〒404-0042 甲州市塩山上於曽1195 ☎0553-33-3205 📠0553-33-3207 ✉keishine@d9.dion.ne.jp
5 山梨ライフケア・ホーム 〒400-0111 甲斐市竜王新町2128 ☎055-279-4711 📠055-279-4713 ✉lifecare@bd.wakwak.com	15 甲府かわせみ苑 〒400-0802 甲府市横根町554 ☎055-222-2900 📠055-222-6600 ✉seishou@crux.ocn.ne.jp	25 はまなす 〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津6901 ☎0555-83-3285 📠0555-83-3286 ✉hamanasu@toranomom.or.jp
6 峡西老人保健センター 〒400-0405 南アルプス市下宮地421 ☎055-282-7000 📠055-282-7003 ✉careport@feel.ocn.ne.jp	16 甲府南ライフケアセンター 〒400-0851 甲府市住吉5-24-14 ☎055-241-3333 📠055-241-7564 ✉kofuminamilife@mx4.nns.ne.jp	26 白樺荘 〒403-0006 富士吉田市新屋1552-3 ☎0555-24-4211 📠0555-24-4212 ✉sirakaba@fgo.jp
7 ケアホーム花菱 〒400-0402 南アルプス市市島1105 ☎055-280-8700 📠055-280-8701 ✉hanabishi@isis.ocn.ne.jp	17 N A C 湯村 〒400-0073 甲府市湯村3-15-13 ☎055-253-2200 📠055-253-2203 ✉rouken@nac-yumura.com	27 山中湖あんずの森 〒401-0501 南都留郡山中湖村山中1069-3 ☎0555-63-2333 📠0555-62-9999 ✉yamanakakoanzunomori@juno.ocn.ne.jp
8 ひばり苑 〒409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰1277 ☎055-275-9511 📠055-275-9512 ✉hibari-office@takekawa-kai.or.jp	18 甲府相川ケアセンター 〒400-0003 甲府市塚原町359 ☎055-252-1600 📠055-252-1602 ✉aikawa@kashinokai.or.jp	28 つる 〒402-0056 都留市つる5-1-55 ☎0554-45-1813 📠0554-45-1006 ✉rouken@hp.city.tsuru.yamanashi.jp
9 ノイエス 〒409-3863 中巨摩郡昭和町河東中島443 ☎055-275-1165 📠055-275-1161 ✉neues@sage.ocn.ne.jp	19 大津ケアセンター 〒400-0055 甲府市大津町1509-1 ☎055-244-0202 📠055-244-0033 ✉ootsu@ray.ocn.ne.jp	29 ももくら 〒409-0622 大月市七保町下和田2132-1 ☎0554-20-1111 📠0554-20-1119 ✉momokura@biscuit.ocn.ne.jp
10 玉穂ケアセンター 〒409-3812 中央市乙黒247-1 ☎055-273-7331 📠055-273-7360 ✉syojukai@yin.or.jp	20 甲州ケア・ホーム 〒406-0032 笛吹市石和町四日市場2031 ☎055-263-0242 📠055-263-2250 ✉carehome@krg.ne.jp	30 みのりの里 旭ヶ丘 〒409-0112 上野原市上野原7806 ☎0554-63-5800 📠0554-62-6006 ✉jimu@keifuu.or.jp

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会広報委員会
 峡西老人保健センター内

〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
 TEL 055-282-7000 FAX 055-282-7003
 URL : <http://www.y-rouken.jp>
 E-mail : y.rouken@wish.ocn.ne.jp